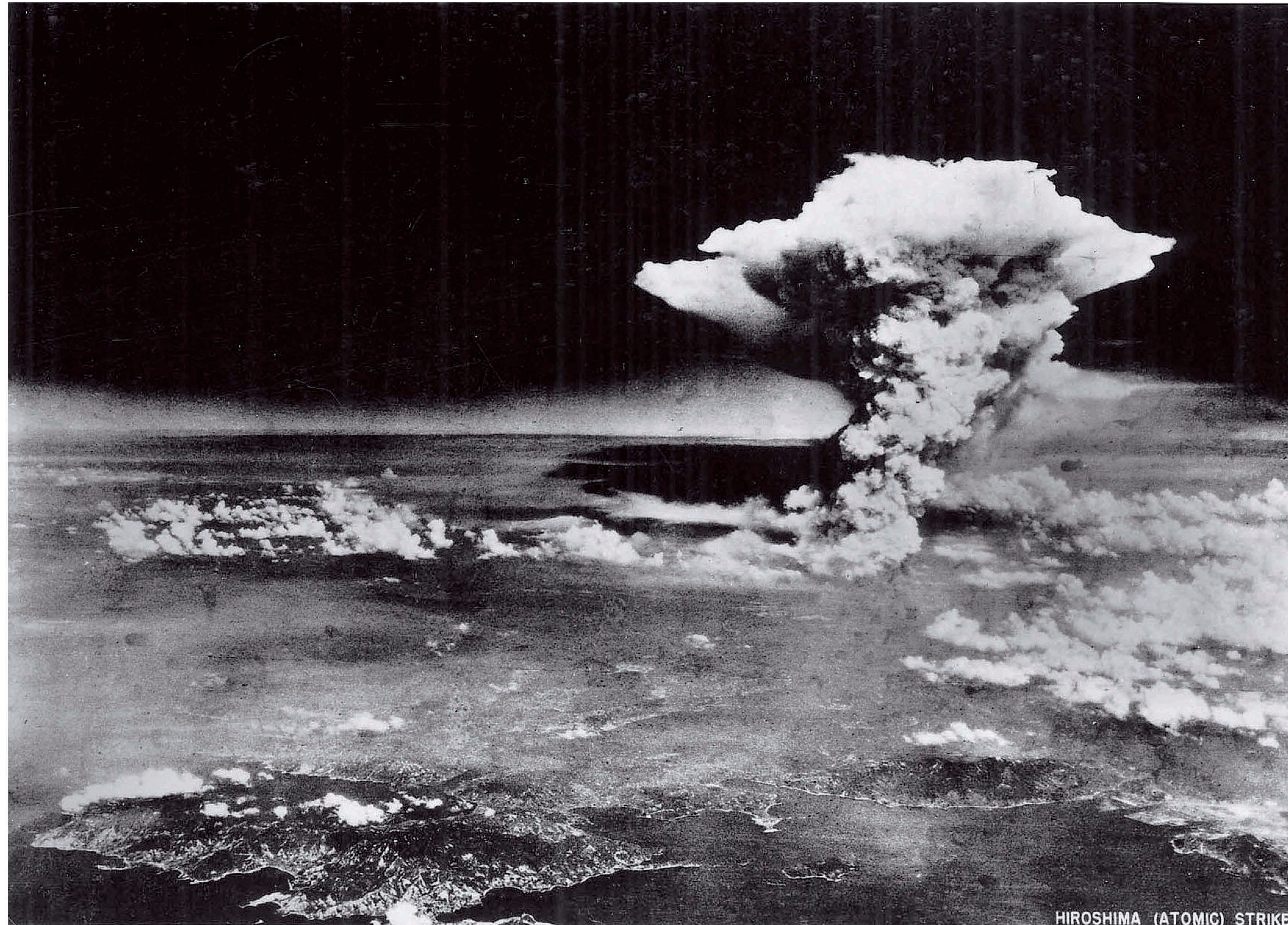


ぐも きのこ雲

ひろしま
—広島—



べいぐん き さつえい きよ
米軍機より撮影した巨
だい ぐも しょう
大なきのこ雲、1945(昭
わ ねん がつ にち じんるい
和20)年8月6日。人類
しじょうさいしょ げんし ばくだん
史上最初の原子爆弾が
ひろしまし どうか
広島市に投下された。
やく はな せ とない
約80km離れた瀬戸内
かいじょうくう さつえい
海上空からの撮影。

ばくしんち きょり やく
爆心地からの距離/約80km
べいぐん さつえい ひろしまへい わ き ねん しりょうかんでいきょう
米軍撮影/広島平和記念資料館提供
さつえい じこく どうか やく じかんご
撮影時刻/投下から約1時間後

HIROSHIMA (ATOMIC) STRIKE

ひろしまけんしょうこうけいざいかい おくじょう み
広島県商工経済会の屋上から見た

ひろしまけんさんぎょうしょうれいかん ばくしんち ふきん
広島県産業奨励館と爆心地付近

ひろしま
—広島—



たてももの いっしゆん たいは
建物は一瞬にして大破
し、てんじょう ひ ふ
天井から火を吹いて
ぜんしょう ばくふう
全焼した。爆風がほとん
どまうえ どうたつ
ど真上から到達したた
め、たてももの かべ いちぶ
建物の壁の一部は
とうかい まぬが てつ
倒壊を免れ、ドームの鉄
わく しょうちようてき すがた
枠とともに象徴的な姿
をさらした。

ばくしんち きょり
爆心地からの距離 / 260m
べいぐんさつえい ひろしまへい わ き ねん し りょうかんでいきょう
米軍撮影 / 広島平和記念資料館提供
さつえいにちじ しょうわ ねん がつ
撮影日時 / 1945(昭和20)年11月

ちゅうごくぐんかんく しれいぶ ぼうくうさくせんしつ いりぐち
中国軍管区司令部防空作戦室の入口

ひろしま
—広島—



ひろしまじょうないちゅうごくぐんかんく
広島城内中国軍管区
しれいぶ ぼうくうさくせんしつ
司令部防空作戦室の
いりぐち ふ きん つうしん
入口付近。この通信
しつ じょし きんろうたいいん
室から女子勤労隊員が
ひばくだいっぼう はっ
被爆第一報を発した。

ばくしんち きょり
爆心地からの距離 / 790m
べいぐんさつえい ひろしまへい わ きねん しりょうかんでいきょう
米軍撮影 / 広島平和記念資料館提供

やまぐちちょう ふ きん たてもの おくじょう みなみ のぞ ひろしま
山口町付近の建物の屋上から、南を望む — 広島 —



やまぐちちょう ふ きん たてもの おく
山口町付近の建物屋
じょう みなみ てんぼう
上から南を展望すると、
め
目をさえぎるものは何
もなく、ひろしまが す ひろしま
工場のガスホルダー、
もとうじな ひろしまわん
元宇品、そして広島湾
う にのしま ひろしまし
に浮かぶ似島(広島市
かいじょう み
から海上4キロ)が見え
た。

べいぐんさつえい ひろしまへい わ きねん しりょうかんでいきょう
米軍撮影 / 広島平和記念資料館提供

ばくしんち ほっぼう のぞ
爆心地から北方を望む

ひろしま
—広島—

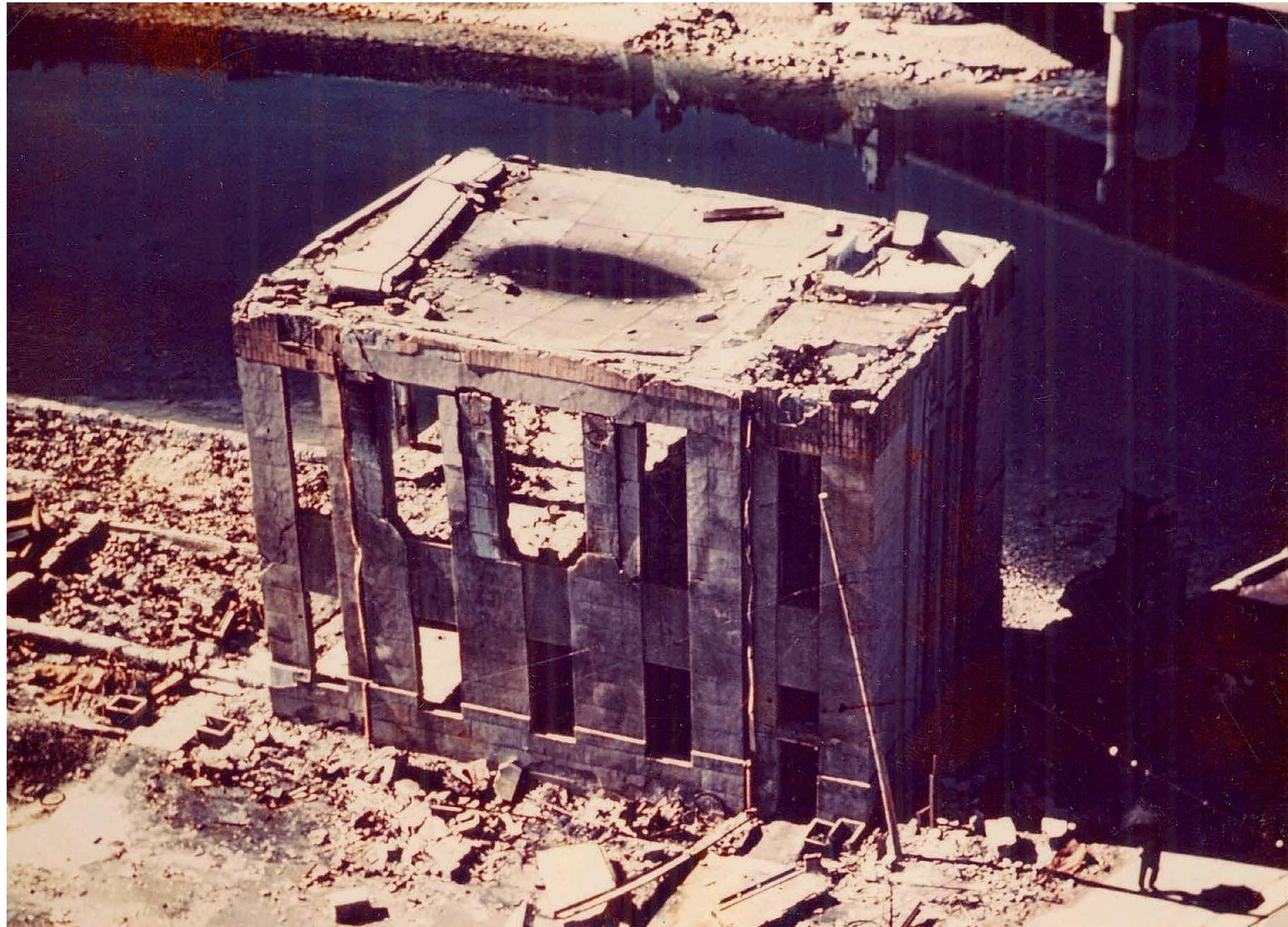


てまえ ばくしんち しまびょういん
手前は爆心地島病院の
はいぎよ みぎて ひろしま ごこく
廃墟。右手に広島護国
じんじゃさんどう とりい み
神社参道の鳥居が見え
る。

ばくしんち きより
爆心地からの距離 / 0m
べいぐんさつえい ひろしまへいわ きねん しりょうかんでいきょう
米軍撮影 / 広島平和記念資料館提供
さつえいにちじ しゅうわ ねん がつ
撮影日時 / 1945(昭和20)年11月

にほんせきじゅうじしゃひろしましぶ
日本赤十字社広島支部

ひろしま
—広島—



ばくしんちよつかい
爆心直下に位置し、真
うえばくふうう
上から爆風を受けへこ
んだ屋根には9月の台
ふうときふあまみず
風の時に降った雨水が
たまっている。

ばくしんちきょり
爆心地からの距離 / 210m
べいぐんさつえいひろしまへいわきねんしりょうかんでいきょう
米軍撮影 / 広島平和記念資料館提供
さつえいにちじしやうわねんがつ
撮影日時 / 1945(昭和20)年11月

にほんぎんこうひろしましてん ないぶ
日本銀行広島支店の内部

ひろしま
—広島—



シャッターが開いていた
3階の内部は、爆風と火
災とで見える影もない。

爆心地からの距離 / 380m
米軍撮影 / 広島平和記念資料館提供

と いっしょう
溶けた一升びん

ひろしま
— 広島 —



みそしょうゆじょうぞうぎょういとな
味噌・醤油醸造業を営
んでいたくぼたほんてん
久保田本店で
ひばくしょうゆき
被爆した醤油びん。木
ばこつじょうたい
箱に詰められた状態で
ひばくとかた
被爆し、溶け固まったと
おも
思われる。ようかいぶぶん
溶解部分に
きばこくぎふく
木箱の釘が含まれてい
る。

ばくしんちきょり
爆心地からの距離 / 950m
くぼたほんてんくぼたせいいちしきぞう
久保田本店 久保田 精一氏寄贈 /
ひろしまへいわきねんしりょうかんでいきょう
広島平和記念資料館提供

べんとうばこ
弁当箱

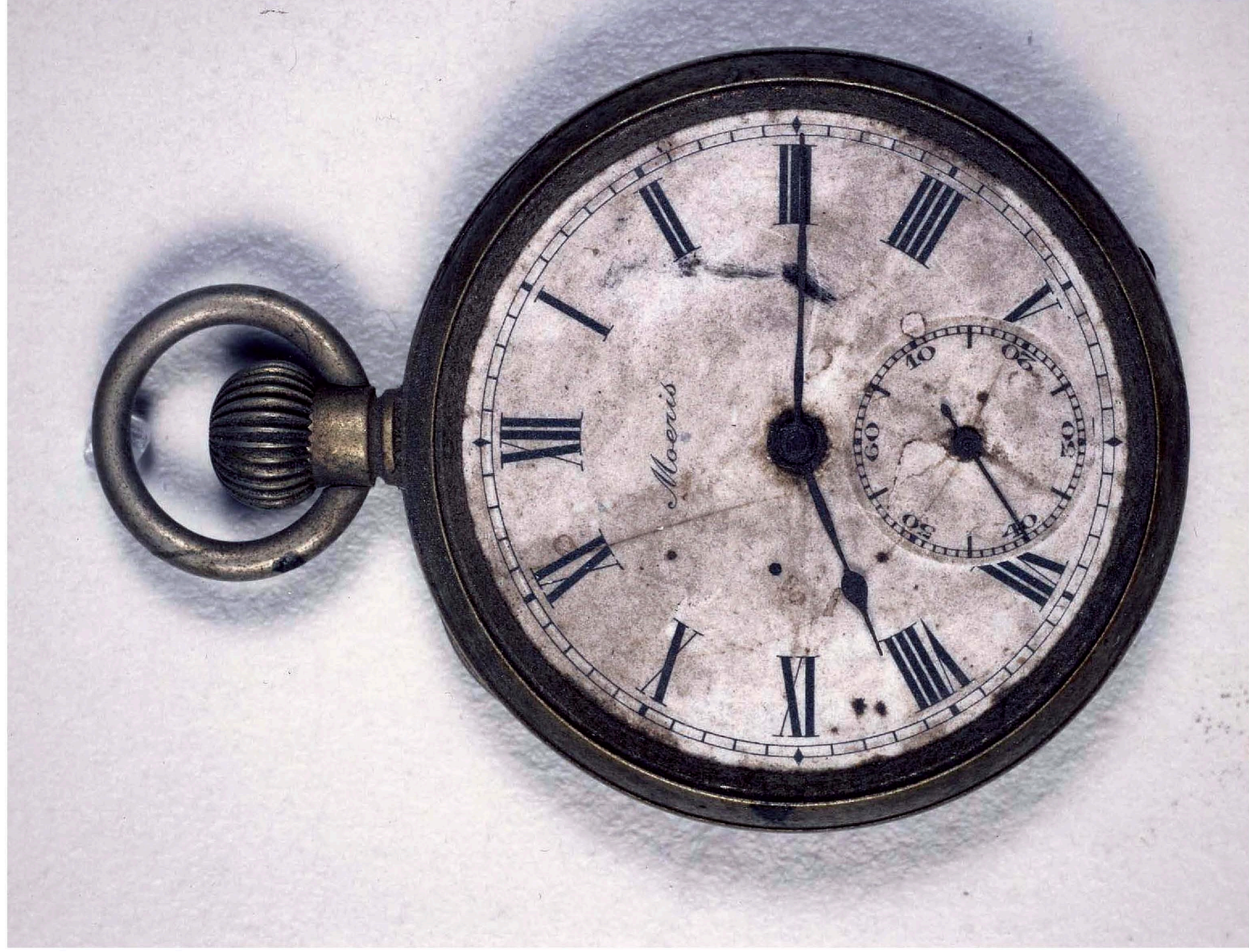
ひろしま
—広島—



けんりつひろしまだい にちゅうがっこう
県立広島第二中学校1
ねんせい おりめんしげる
年生の折免滋さんは、
たてもん そかい さぎょうげん ば
建物疎開作業現場で
ひばく しぼう がつ にち
被爆し、死亡。8月9日
そうちょう ははおや べんとうばこ
早朝、母親が、弁当箱を
おなかの^{した}下に抱きかか
えるような^{すがた}姿の遺体を
はっけん ^{しげる}発見した。滋さんが^た食
べることのできなかつたお
べんとう ^{たんか}弁当は炭化して^ま真っ黒
になっていた。

ばくしんち ^{きょり}爆心地からの距離 / 600m
おりめん ^{しきぞう} 折免シゲコ氏寄贈 / ひろしまへいわ ^{きねんし} 広島平和記念資
りょうかんでいきょう
料館提供

じふん と けい
8時15分で止まった時計 — 広島 —

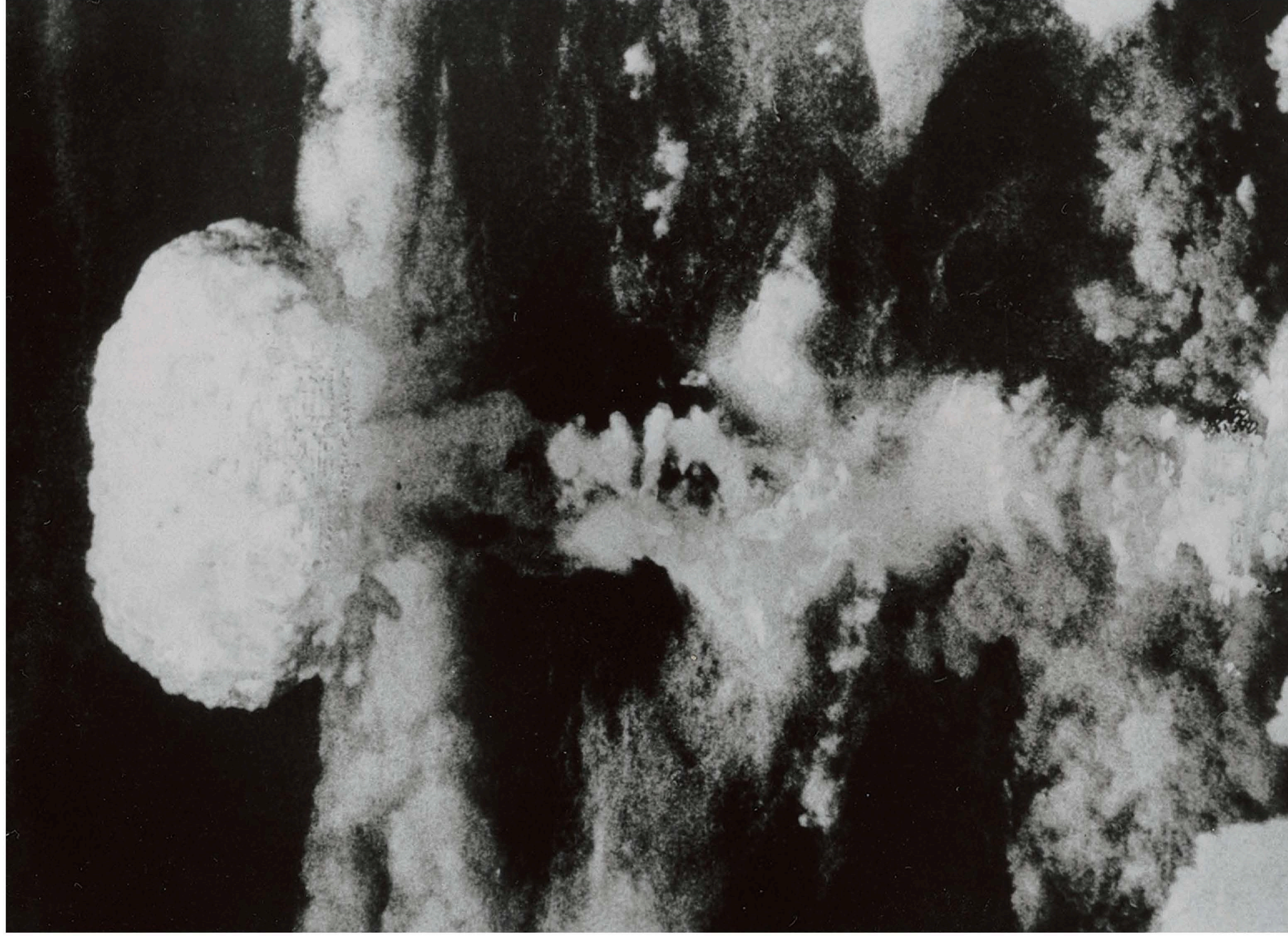


二川謙吾さん(当時59歳)は、市の中心部へ建物疎開作業に向かう途中、被爆。右肩から背中、頭部に大火傷を負い、8月22日に死亡。この時計は、息子から贈られたもので、肌身離さず持ち歩いていた。

爆心地からの距離 / 1,600m
二川一夫氏寄贈 / 広島平和記念資料館提供

ぐも きのこ雲

ながさき
—長崎—



ばくげきききみ見たきたきのこ雲。ながさきとうかげんしばくだんちじょうやく
B29爆撃機から見たきたきのこ雲。長崎に投下された原子爆弾は地上約500
メートルで炸裂した。火球はきのこ状の雲となってふくらみながら上昇し、巨
大化していった。米軍機（B29観測機）はきのこ雲の周囲を旋回しながら撮
影している。

べいぐんまつまい ながさきげんぱくしりょうかんていしきょう
米軍撮影／長崎原爆資料館提供

うらかみてんしゅどう
浦上天主堂

ながさき
—長崎—



ひがしがわ どうないにしがわ み
東側から堂内西側を見
る。手前は東壁の一部。
ちゅうおう しょうめんうちかべ どうない
中央は正面内壁。堂内
には崩落した鐘楼ドーム
が見える。

ばくしんち きょり やく
爆心地からの距離／約 0.5km
いしだ ひさし さつえい ながさきげんばくしりょうかんでいきょう
石田 壽氏撮影／長崎原爆資料館提供
さつえいにちじ しょうわ ねん
撮影日時／1946(昭和21)年～1947
しょうわ ねんごろ おも
(昭和22)年頃ではないかと思われる。

うらかみてんしゅどう
浦上天主堂

ながさき
—長崎—



やまざとまちほくぶ うらかみてんしゅどう
山里町北部から浦上天主堂を
見る。

ばくしんち きょり やく
爆心地からの距離／約 0.5km
べいこくりくぐんびょうり がくけんきゅうじょへんかんしゃしん ながさきげんぱくしりょう
米国陸軍病理学研究所返還写真／長崎原爆資料
かんでいきょう
館提供

しろやまこく민がっこう
城山国民学校

ながさき
—長崎—



しろやまこく민がっこう げんざい しろやましょう
城山国民学校(現在の城山小
がっこう こうしゃみなみとう どうたん ぶ いったい
学校)校舎南棟の東端部一帯
こうていみなみがわ み ちゅうおう
を校庭南側から見る。中央に
べいへい た だ
米兵の立っているところは茶
び かそう あと ちゅうおうみぎおく さい
毘(火葬)の跡。中央右奥に西
ぶ が す おおはしこうじょう げんざい けんえい
部瓦斯大橋工場(現在の県営
おおはし ふ きん
大橋アパートの付近)のガスタ
みつびしながさきへい き せいさくしよおお
ンクと三菱長崎兵器製作所大
はしこうじょう げんざい ながさきだいがくぶんきょう
橋工場(現在の長崎大学文教
ばしよ ぎ じゅつ ぶ
キャンパスの場所)の技術部
たてもの み
の建物が見える。

ばくしんち きより やく
爆心地からの距離/約 0.5km
べいこくりくぐんびょうり がくけんきゅうじょへんかんしゃしん ながさきげんぱく
米国陸軍病理学研究所返還写真/長崎原爆
しりょうかんでいきょう
資料館提供

しんこうぜんこくみんがっこうきゅうごしよ
新興善国民学校救護所

ながさき
—長崎—



しんこうぜんこくみんがっこうきゅうご
新興善国民学校救護
所(現在の市立図書館)
の病室風景。学校の
教室が病室として使
用された。

ばくしんち 爆心地からの距離 / 約3km
おがわ 小川 トラ彦氏撮影 / ながさきげんぱくしりょうかん 長崎原爆資料館
ていきょう 提供

さんのうじんじゃ
山王神社

ながさき
—長崎—



ちゅうおう どうじんじゃ に とり い
中央は同神社二の鳥居
ほんばしらとり い みぎ
(1本柱鳥居)。その右は
おおくす
大楠。

ばくしんち きょり やく
爆心地からの距離／約0.8km
いしだ ひさし さつえい ながさきげんぱくしりょうかんでいきょう
石田 壽氏撮影／長崎原爆資料館提供

こくぼうふく
国防服

ながさき
—長崎—



しない ちゅうかりょうりてん はたら
市内の中華料理店で働
いていた高 大倂氏は
ばくしんち やく
爆心地から約1.4kmの
うらかみだいいちびょういん ひなん
浦上第一病院へ避難
して被爆した。これ
は、その時に着用してい
たこくぼうふく
た国防服である。その
ご にしやまちく じりき
後、西山地区へ自力で
ひなん
避難した。

ばくしんち きょり やく
爆心地からの距離／約1.4km
かん ふみかつし きぞう ながさきげんばくしりょうかんでい
官 文勝氏寄贈／長崎原爆資料館提
供

はしらどけい 柱時計

ながさき
—長崎—



爆心地から約800mの山王神社近くの民家で被爆したものの。爆風で損傷し、時計の針は爆発の時刻11時2分で止まっている。

爆心地からの距離 / 800m
久保 忠八氏寄贈 / 長崎原爆資料館提供

ひばくがわら
被爆瓦

ながさき
—長崎—



ねっせん ちよくしゃ う
熱線の直射を受けた
かわら ひょうめん ふっとう あわ
瓦の表面は沸騰して泡
だ じっけん けっ
立っている。実験の結
か びょうかん
果では、4秒間、1,800
ど こうねつ おな
度の高熱にさらすと同じ
げんしょう あらわ
現象が現れる。

うちの まさたけしきぞう ながさきげんばくしりょうかん
内野 正武氏寄贈／長崎原爆資料館
ていきょう
提供

せ なか いち めん ね っ し ょ う う し ょ う ね ん
背中一面に熱傷を受けた少年

ながさき
—長崎—



じ て ん し ゃ ゆ う び ん は い た つ ち ゚ う
自転車郵便配達中に
ひ ば く さ い し ょ う ね ん
被爆した16才の少年
た に ぐ ち す み て る し
(谷口 稜嘩氏)

た に ぐ ち す み て る し き ぞ う な が さ き げ ん ば く し り ょ う か ん て い き ょ う
谷口 稜嘩氏寄贈／長崎原爆資料館提供
さ つ え い に ち じ し ょ う わ ね ん が つ に ち
撮影日時／1946(昭和21)年1月31日